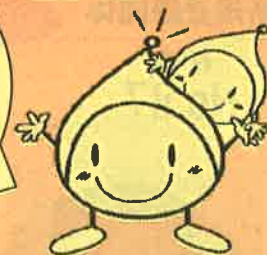


ささえ

地域の幸福度は
「交流が生まれやすい」
「人と繋がりがやすい」
「地域活動が生まれやすい」
環境があることだって!



エールくんとミニさぼちゃん

奇数月発行

あけましておめでとうございます



新しい年を迎え、皆様の活動が更に活発になりますように、支援センタースタッフ一同、支援サービスの充実を図り、スキルを磨いていきます。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

今年も各地域に出向いて「協働のまちづくり」を進めていきます。



支援センター1年間の足あと

3.11 観光ガイドと歩く錦帯橋周辺まち歩き
「まず地域を知ろう!」という目的で開催

5.13 団体交流会の様子 人口マップ作りと分析の発表



5.11 カフェ企画会議 FG で共有



6.22 NPO 法人岩国パソコンの会
から NPO 法人岩国子ども劇場へ
のパソコンの寄付



8.5/8.26 IT を使った地域活
性の方法とロゴの作り方講座



8.10 本藤生地区アンケート
調査方法についての住民協議
を開催。

協働のまちづくり講演会

9.23 ~地域に愛着と誇りを持つために~



「手を差し
伸べる」のも
協働

12.2./12.3 ファシリテーター養成講座



・交流が生まれやすい
・人が繋がりがやすい
・地域活動が生まれやすい

支援センター利用状況
(平成 29 年 1 月~12 月)
利用者数 (印刷・相談等)
3,886 人
ホームページ閲覧数
3,442 人
登録団体数 92 団体

報告 協働のまちづくり

地域の未来を設計する!

~地域づくり計画の策定方法を学ぶ~



山口県立大学
社会福祉学部
教授 坂本俊彦氏

平成 29 年 12 月 9 日 (土)、岩国市中央公民館にて山口県立大学社会福祉学部教授、坂本俊彦先生を講師に「協働のまちづくりパワーアップ研修会」を開催しました。当日は自治会役員の方を含め、約 30 名の参加者が「地域づくり計画の作り方」を学びました。

「地域づくり」は地域住民の生活課題を解決するために行うもの。住んでいる所の課題を明確にし、原因が何であるか把握し、変化する地域課題を定期的に見直すことが必要ということでした。

いい地域社会に繋がっていくためには、地域資源を有効に活用した「地域づくり計画」を作り、実行し、点検、改善していくという PDCA サイクルで考える事が求められます。「だれかが」「いつのまにか」するのではなく、住民参加で計画作りから一緒に行い、住民座談会、住民意識調査、聞き取り調査等の手法を用いて課題を共有し、計画を立てるために課題を量的に把握し、取り組む課題を絞って実行することと教えて頂きました。





～子ども達に対して、居場所を作る手伝いをしています～



代表 金本 秀韓 さん

「NPO法人とりで」の金本です。「NPO法人とりで」は平成28年4月から岩国市で活動をしています。

主な活動は

- ①自立援助ホーム「そなえ」(15歳から20歳未満の子どもを預かり職員が交代で子どもたちの生活支援や就労支援を行うホーム)の運営
- ②地域の子どもたちへ無料で食事支援、学習支援
- ③児童養護施設等を退所した子どもたちへのアフターケア
- ④講演活動 地域の皆様の支えもあり、活動は徐々に広がりを見せています。今後ともご支援ご協力の程よろしくお願いたします。

～子どもの貧困対策に取り組んでいます！～

↓とりで塾



ひとり親家庭の子どもや生活困窮世帯等の子どもの生活の向上を図るため、小学生から高校生までの子どもを対象とし、放課後に学習支援、食事の提供等を行っています。平成29年度は、「とりでモーニング」を開始しました。飲食店よりご寄付を頂き、地域で子どもたちを支える仕組みづくりに取り組んでいます。

とりで塾

(小学生から高校生ままでを対象にした無料の学習支援)

とりでこども食堂

(小学生から高校生ままでを対象にした無料の食事支援)

親も一緒に過ごし、子どもたちと調理をするなど家庭とは違った時間を過ごせます。また、親同士がそこでつながり、子ども達に関する悩みを共有できます。



↑とりでこども食堂→

お問い合わせ

特定非営利活動法人 とりで

TEL: 0827-35-6509

HP: <http://www.toride2016.com/>

Facebook: <https://www.facebook.com/toride2016/>

市民活動さぽーと講座

報告

ファシリテーター養成講座

H29年12月2日(土)・3日(日)開催

「人と人をつなぐ」「人と地域をつなぐ」「人と街をつなぐ」コツ

会議や話し合いの場で発言を促したり、話の流れや内容を確認したり、参加意識を向上させるために、合意形成や相互理解をサポートするファシリテーターを養成する講座が2日間に渡って開催されました。人と人との繋がり、地域との結びつきで、体や心にも良い効果が表れると大学の研究でも証明されているとのこと。



1日目は主にコミュニケーションについて学び、自分の持っている個性やスキルを活かすスタイル診断などを行いました。2日目は地域の幸福度をあげるためのファシリテーションについて学びました。後半の実践ワークショップでは「良い話し合いとは」について意見を出し合い、最後にワールドカフェ方式により「実現したい未来」に向けて話し合いました。

市民活動団体のイベント情報



「第5回 桜の手入れを学ぶ講座」

錦帯橋周辺の桜の木にきれいな花を咲かせるために、多くのボランティアの人が関わって、病気の枝の処理や施肥等を実施しています。あなたも一緒にきれいな桜の花を咲かせるコツを学びませんか？

- 日 時：平成30年2月3日（土）9：30～12：00
- 場 所：サンライフ岩国（横山2丁目7-28）
- 講 師：正本 大氏（広島県緑化センター） ●参加料：無 料
- 問 合 せ：錦帯橋さくら守の会 ☎090-3786-9938（児玉）



「観光ボランティアガイド養成講座」

歴史に興味がある方、岩国を訪れた観光客をご案内してみたいと思われる方、ガイドは難しいことはありません。観光ガイドと一緒にやってみませんか。

入会希望の方は、まずは養成講座に受講してみませんか。多数の方のご参加をお待ちしております！

- 1 募集案内：年初1月15日号の「広報いわくに」に掲載
- 2 説明会：平成30年2月10日（土）10：00～（場所：岩国市役所4階）
- 3 養成講座：2月初旬～4月末／土日の午前中（協会会員による現地指導）
- 受講料：無 料（資料代含む）
- 問 合 せ：岩国観光ボランティア協会 ☎090-9419-3105



「岩国内裏びなまつり」

城下町回遊路一帯で「内裏びなまつり」を開催します。岩国城下町の「内裏びな」物語には、古い商家から伝わる悲しい話と商売繁盛の話と、二つの不思議な民話が存在します。

毎年恒例の城下町1kmのひななざりが大展示されます。大規模に飾られたひなまつりを見に岩国の城下町を散策しませんか。

- 日 時：平成30年2月24日（土）～3月4日（日）
- 場 所：錦帯橋周辺（岩国本町側）
- 問 合 せ：岩国まちづくり桜の会 ☎0827-41-0245（笠井）



支援センターからのお知らせ

「市民活動団体パネル展」

さまざまな分野で活動している登録団体が、日頃の活動や実践されている協働事例を展示しています。市民活動に関する理解と関心を深めていただき、新たな協働事例が生まれることを目的としています。ご来場お待ちしております。

- 展示期間：～平成30年1月11日（木）8：30～17：15（※最終日は15：00まで）
- 展示場所：岩国市役所 1階 展示コーナー ●入 場 料：無 料

「NPO法人なんでも相談会」「助成金個別相談会」

NPOの設立から解散までの手続き、助成金の申請から獲得・活用までなんでもご相談ください。

- 日 時：平成30年1月14日（日）10：00～15：00 【市民活動カフェ2018同日開催】
 - 場 所：岩国市中央公民館 3階 いわくに市民活動支援センター内
 - 講 師：やまぐち県民活動支援センター ・（公財）山口きらめき財団
 - 問 合 せ：いわくに市民活動支援センター ☎0827-44-0288
- ※相談無料・事前予約要



NPO法人岩国パソコンの会による「インターネット安全教室」

誰でも気軽にインターネットに接続できるようになった今日、思わぬトラブルや犯罪に巻き込まれる危険性が高くなっています。安全快適に活用するための情報セキュリティの基礎知識を身につけましょう！

- 日 時：平成30年2月10日（土）13：30～15：30
- 場 所：岩国市中央公民館 第2講座室 ●参加費：無 料
- 講 師：NPO法人岩国パソコンの会 理事長 藤本 寛氏



助成金ニュース

①内容・対象 ②助成金額・件数 ③締切 ④問合せ先
*詳しくは、センター又は各問合せ先までお願いします。

地域の伝統文化女性（地域の伝統文化の継承・発展をめざして）

- ① 地域の民俗芸能への助成・地域の民俗技術への助成
- ② 地域の民俗芸能への助成（1件につき上限70万円）
地域の民俗技術への助成（1件につき上限40万円）
- ③ 平成30年1月31日（水）（当日消印有効）
- ④ （公財）明治安田クオリティオブライフ文化財団 TEL:03-3349-6194 FAX:03-3345-6388

CO-OP 共済 地域ささえあい助成

- ① ・くらしを守り、くらしの困りごとを解決に資する。 ・命を守り、その人らしい生き方ができるようにする。 ・女性と子どもが生き生きする。
- ② 1事業あたり上限100万円
- ③ 平成30年1月31日（水）（当日消印有効）
- ④ 日本コープ共済生活協同組合連合会 TEL:03-6836-1320 FAX:03-6836-1321

ゆたかなふるさとを作る“スタートアップ助成”

- ① 瀬戸内海の自然環境に相応しい植生への回復・里山、里海の育成・地域の緑化活動・巨木の保全・環境教育活動・地域の環境保全等をテーマにした市民活動
- ② 助成の種類・団体により、上限20万～400万円
- ③ 平成30年1月31日（水）
- ④ NPO 法人瀬戸内オリーブ基金事務局 TEL:0879-68-2911



岩国のへえ～ 82の巻

てんかごめんほうたいこうかんきょううらすもう
「天下御免豊太閤官許田浦相撲」



1592年、豊臣秀吉が「文禄の役」で朝鮮出兵した際に風待ちの為、海路の途中、つづ浦（現・通津）に立ち寄り、兵士の志気を高める為に慰労の具として相撲を取らせたことが始まりとされています。秀吉は出港のとき鉾八幡宮（現・矛八幡宮）に先勝祈願をし、地元の協力への返礼として官許を与えました。「田浦^{でんぼ}」とは本町の柴田家の屋号に由来します。明治までは遠く浦々から舟に旗を立て、力自慢が集まって技を競ったそうです。

現在は通津民俗芸能保存会により保存・継承されています。地元通津小学校には専用の相撲場が常設され、毎年欠かさず行われ、今年で438回という歴史を誇っています。

参考資料：通津の歴史と伝承・岩国玖珂歴史物語・通津民俗芸能保存会

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年は成年です。鋭い嗅覚で沢山の情報をキャッチし、市民の皆様にお知らせできるようにスタッフ一丸となって頑張っています。本年もどうぞよろしくお願い致します。

インフルエンザの季節が到来しました。手洗い・うがいを励行し、十分な休養とバランスの取れた栄養摂取を心がけ、冬を元気に過ごしましょう。(ヒロ)



支援センター利用状況(11、12月)

・印刷・コピー・大判プリンター	202件
・相談	27件
・登録団体数	92団体(のべ数)

発行：いわくに市民活動支援センター

〒741-0062 岩国市岩国 4-4-15
(岩国市中央公民館3階)

TEL: 0827-44-0288 FAX: 0827-44-0324

E-mail : shien@sky.icn-tv.ne.jp

HP : <http://www.iwakuni-shien-center.com/>

Facebook : <https://www.facebook.com/iwakunishien>